

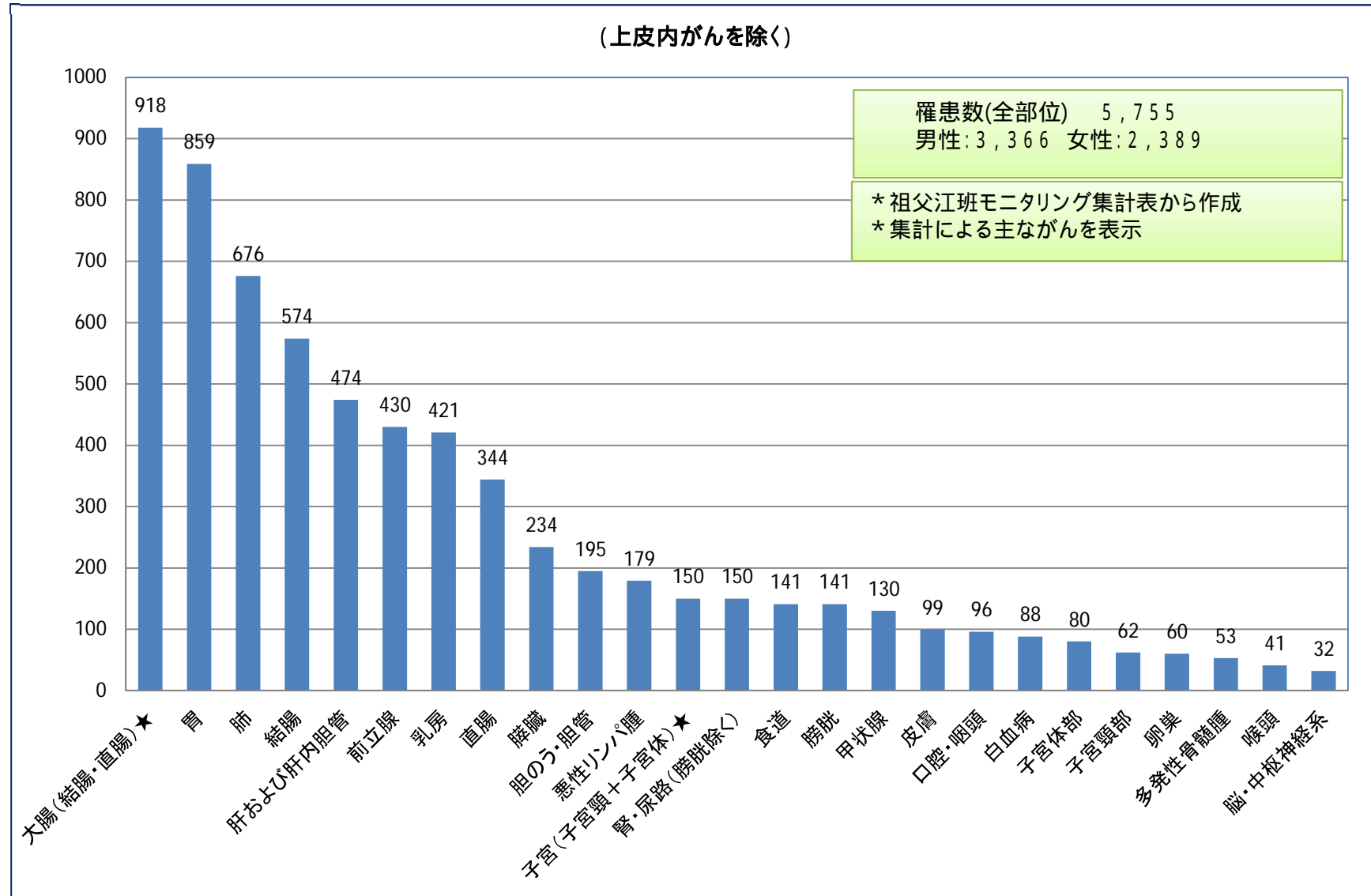
2008年

山梨県がん罹患
集計結果

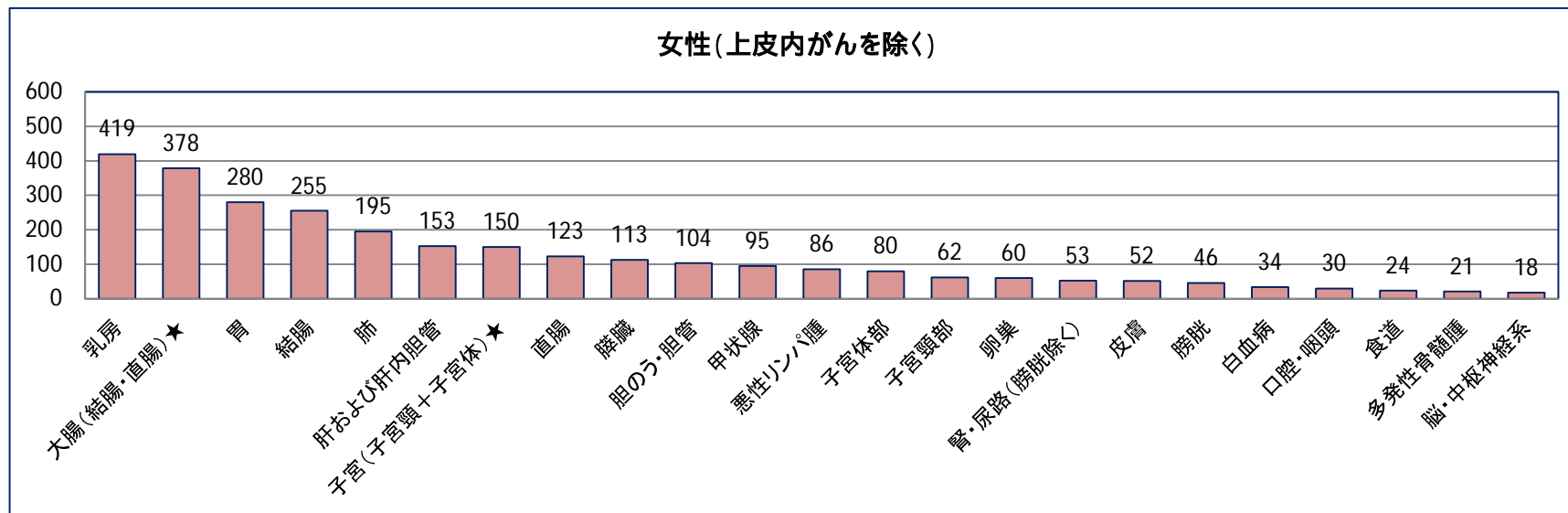
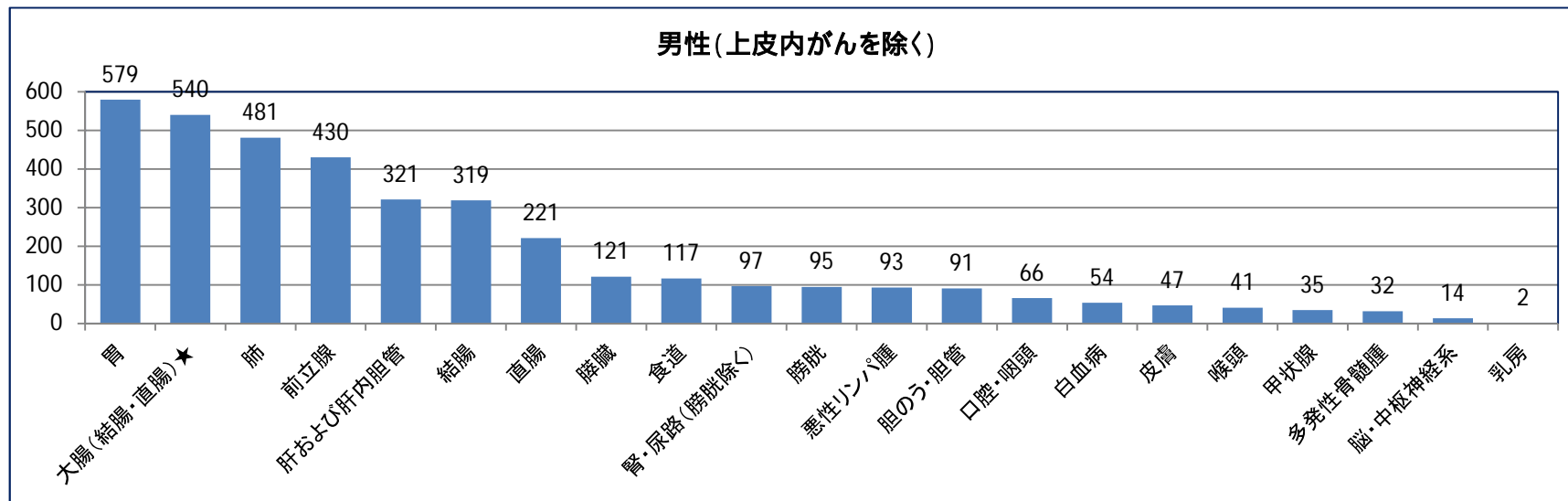
(確定値)

2011年9月集計

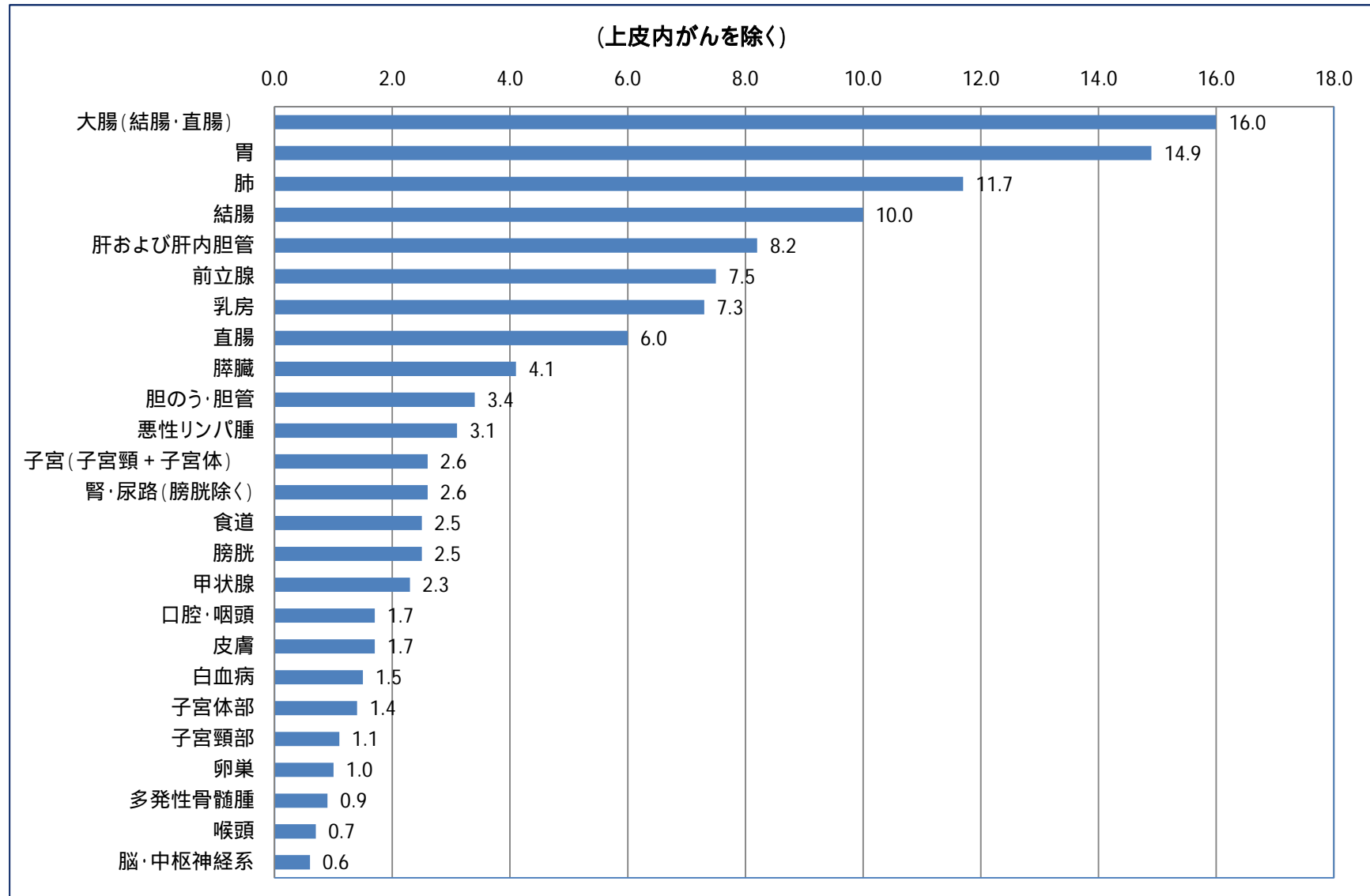
A 2008年山梨県がん罹患数(全体)(件)



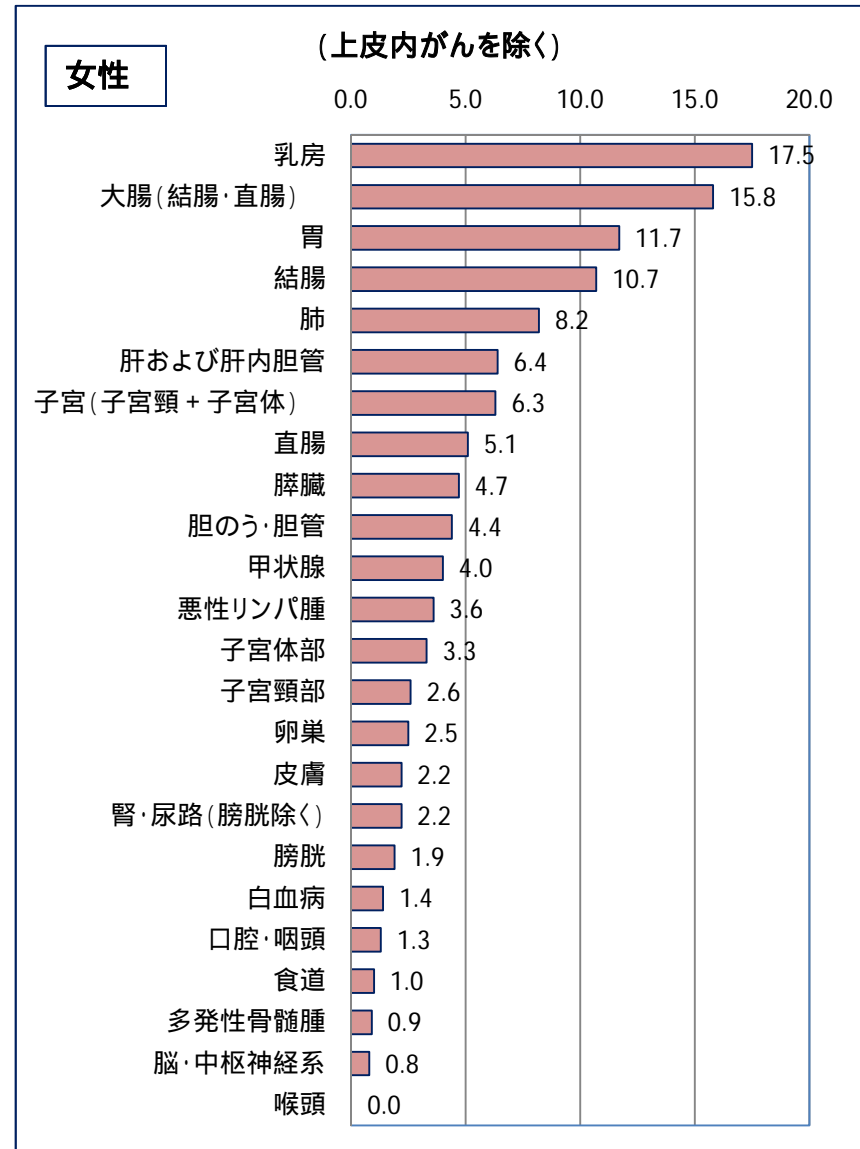
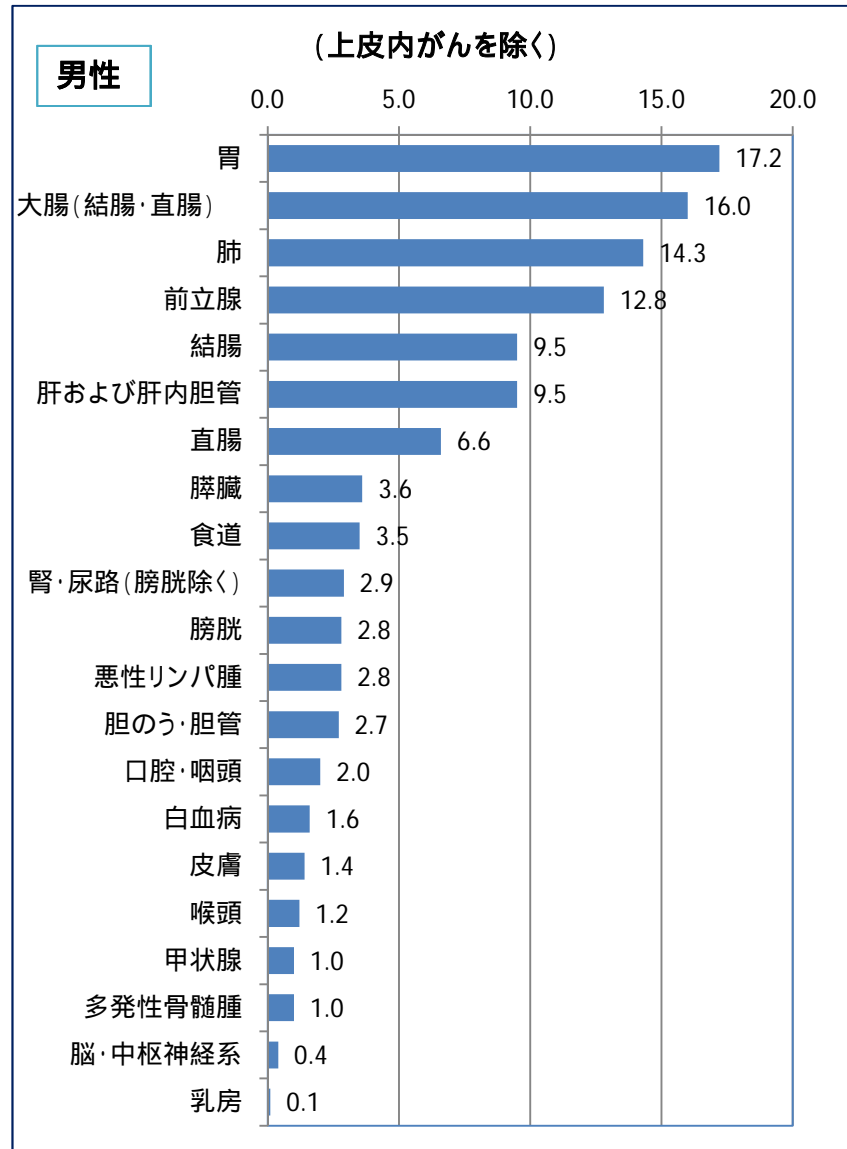
B 男女別・部位別罹患数(件)



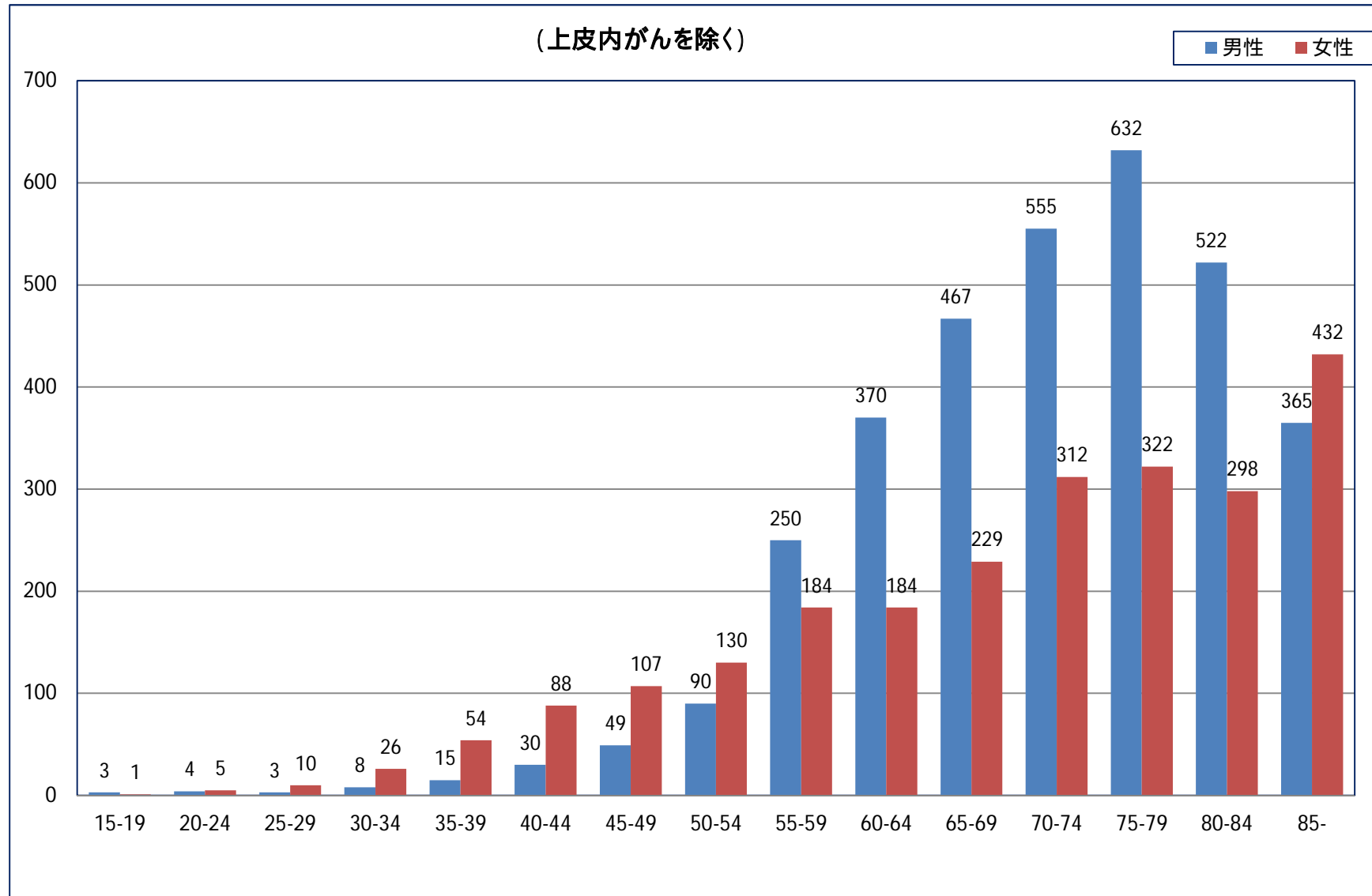
C - 1 罹患割合(%)・全体



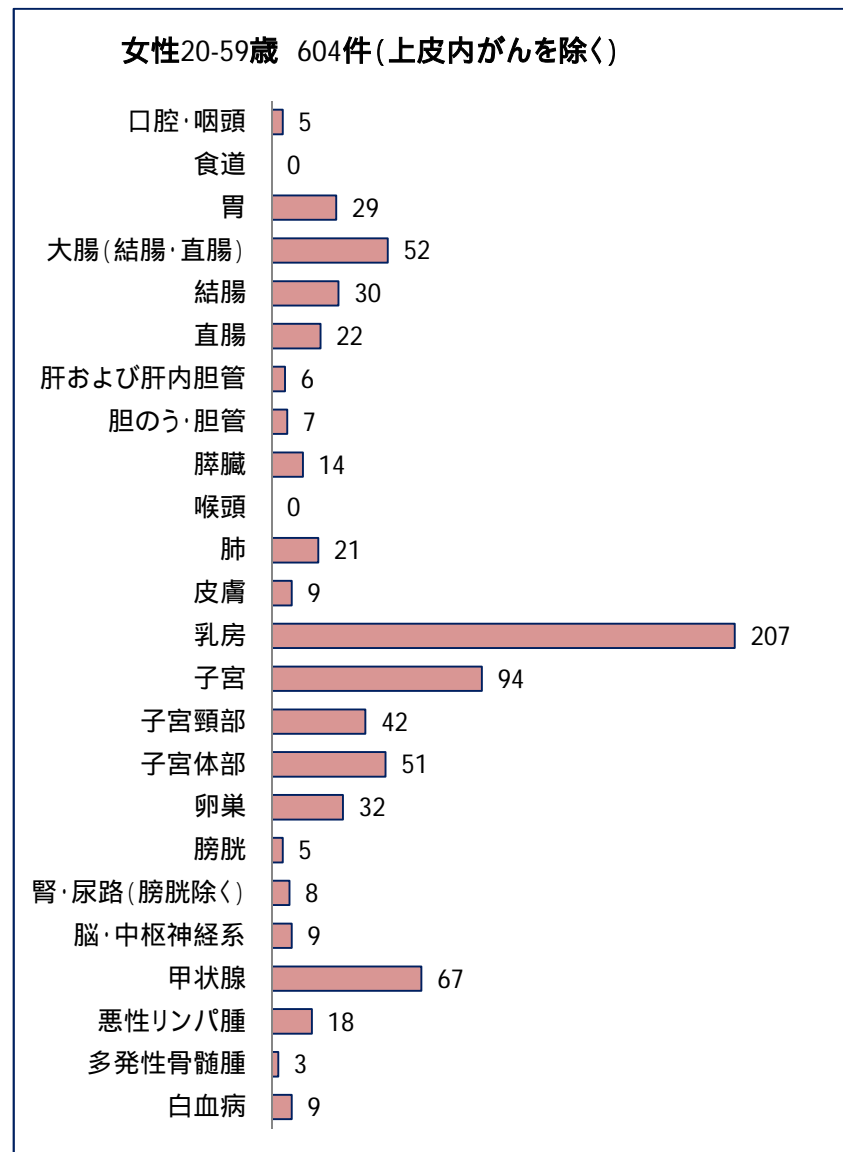
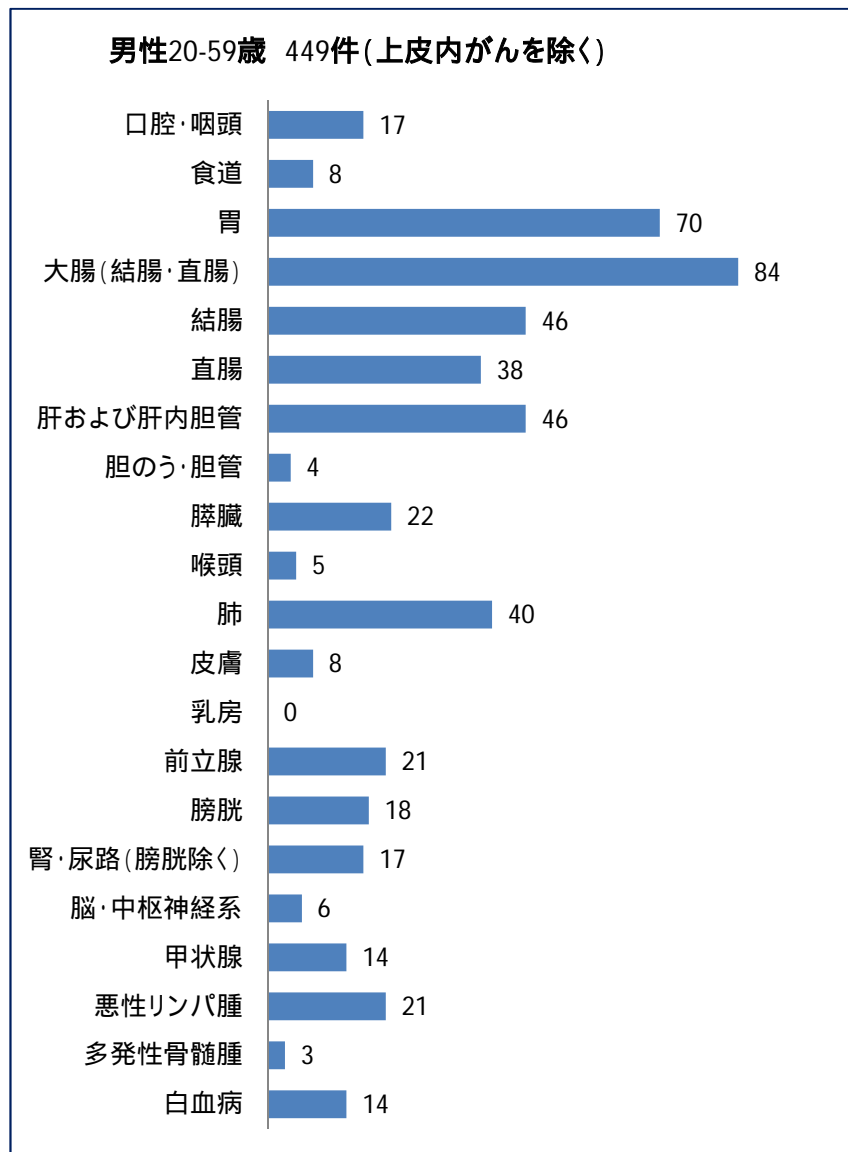
C - 2 罹患割合・男女別 (%)



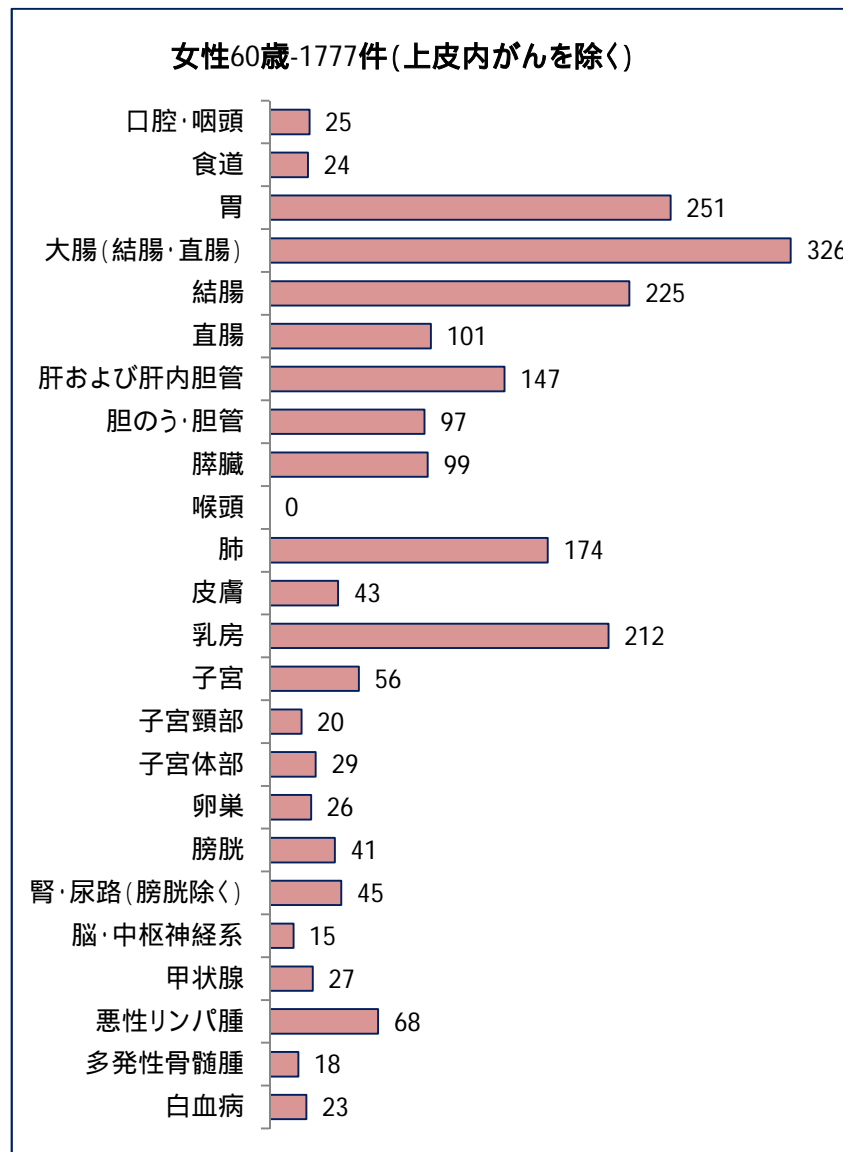
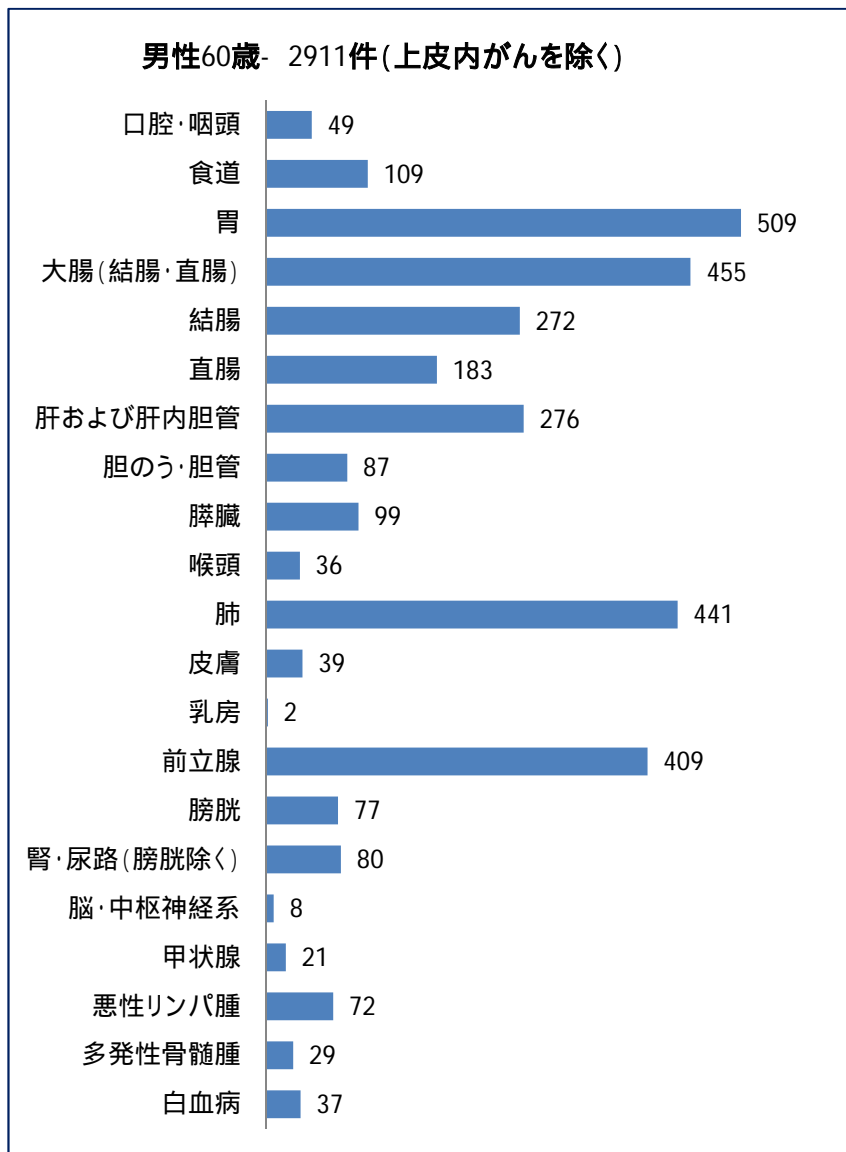
D - 1 年齢階級別・男女別罹患数(件)



D - 2 年齢別・部位別罹患数 / 20歳～59歳(件)

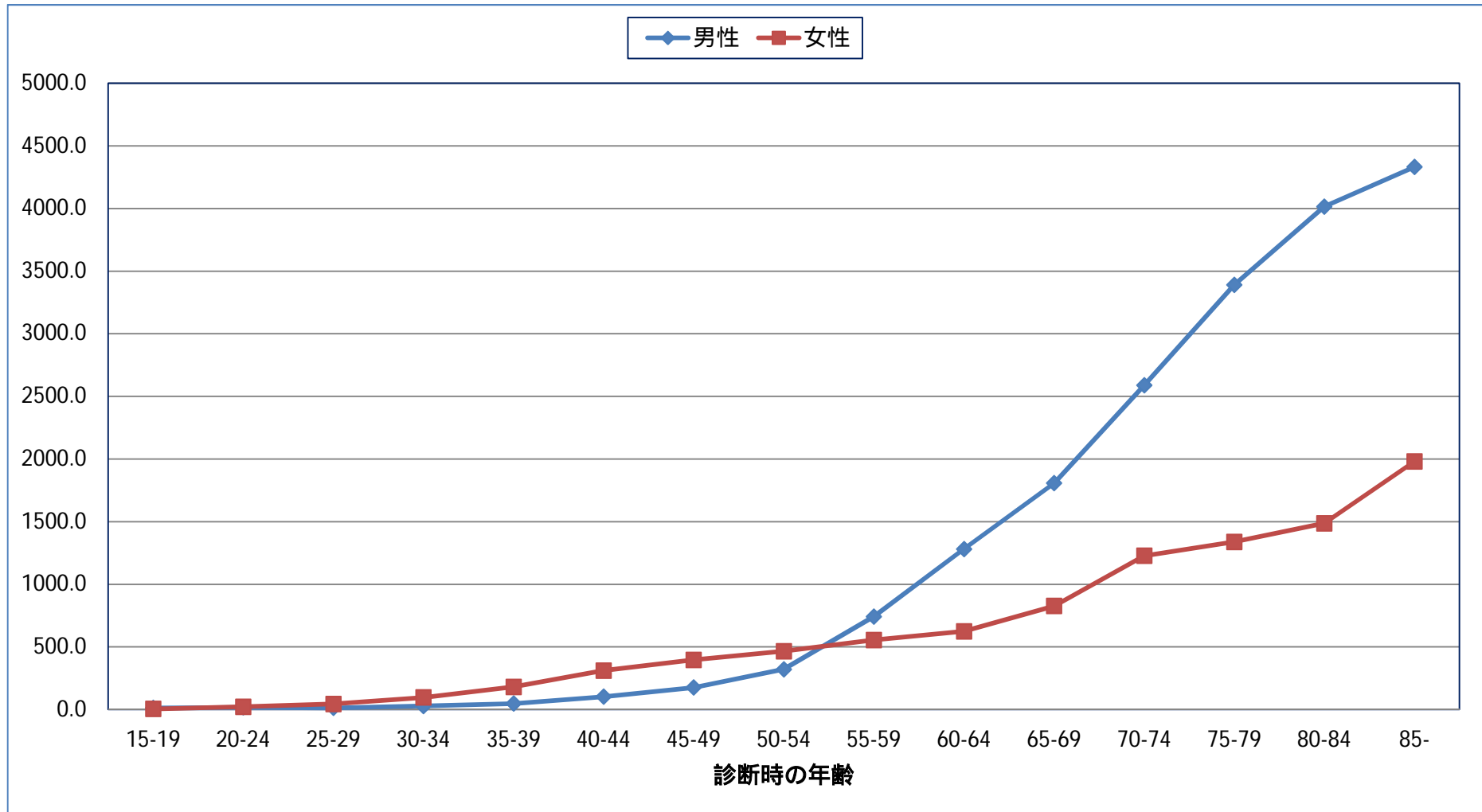


D - 3 年齢別・部位別罹患数 / 60歳以上(件)

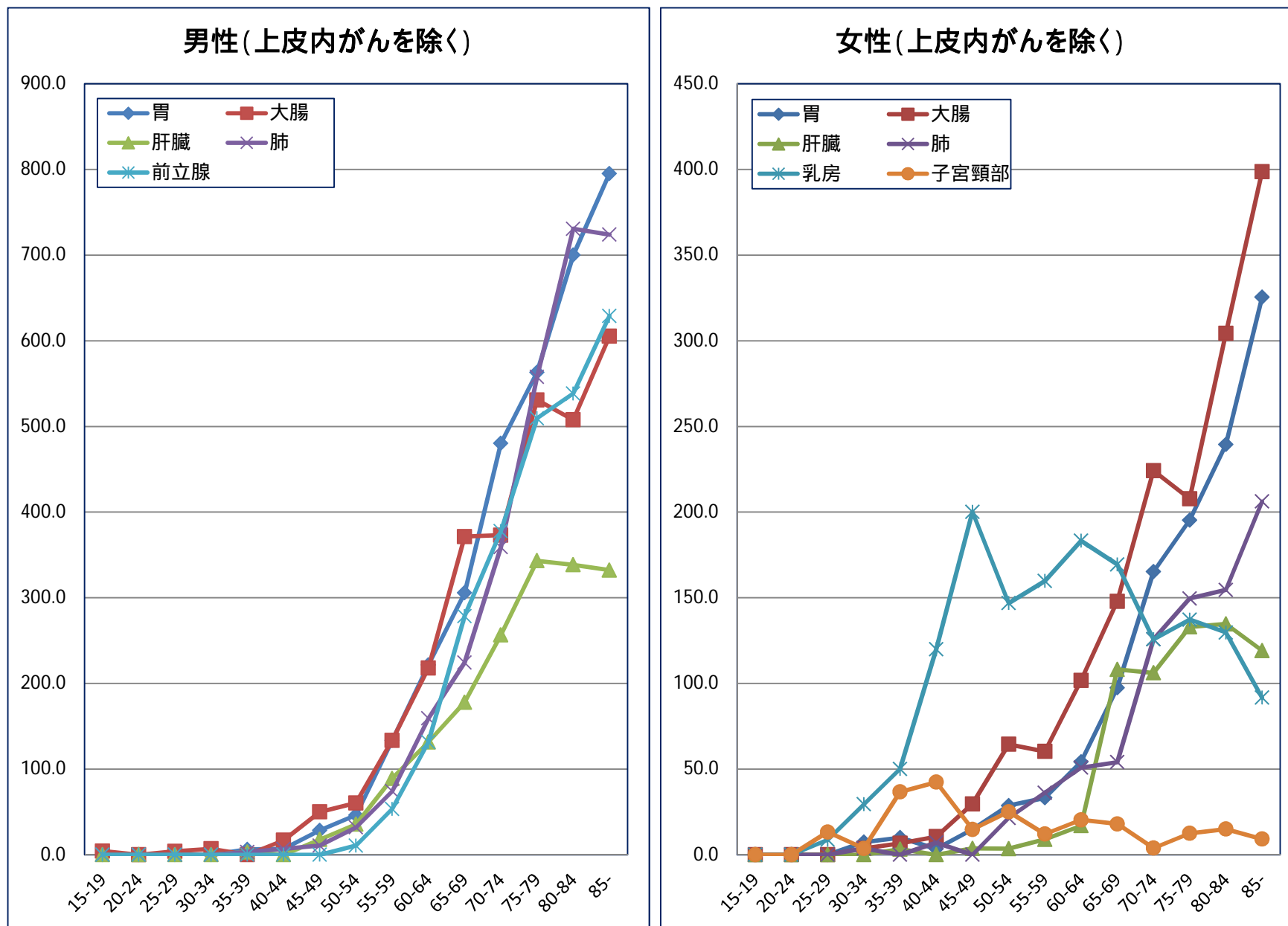


E - 1 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

全部位(上皮内がんを除く)

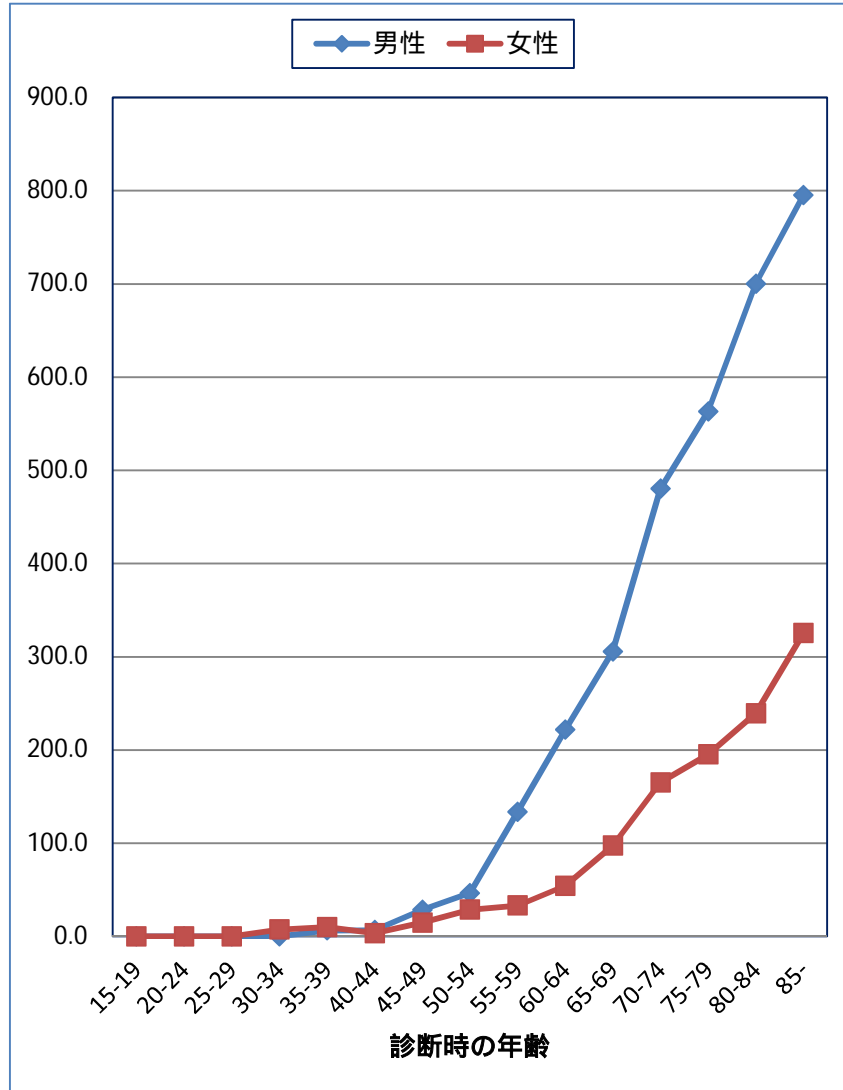


E - 2 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

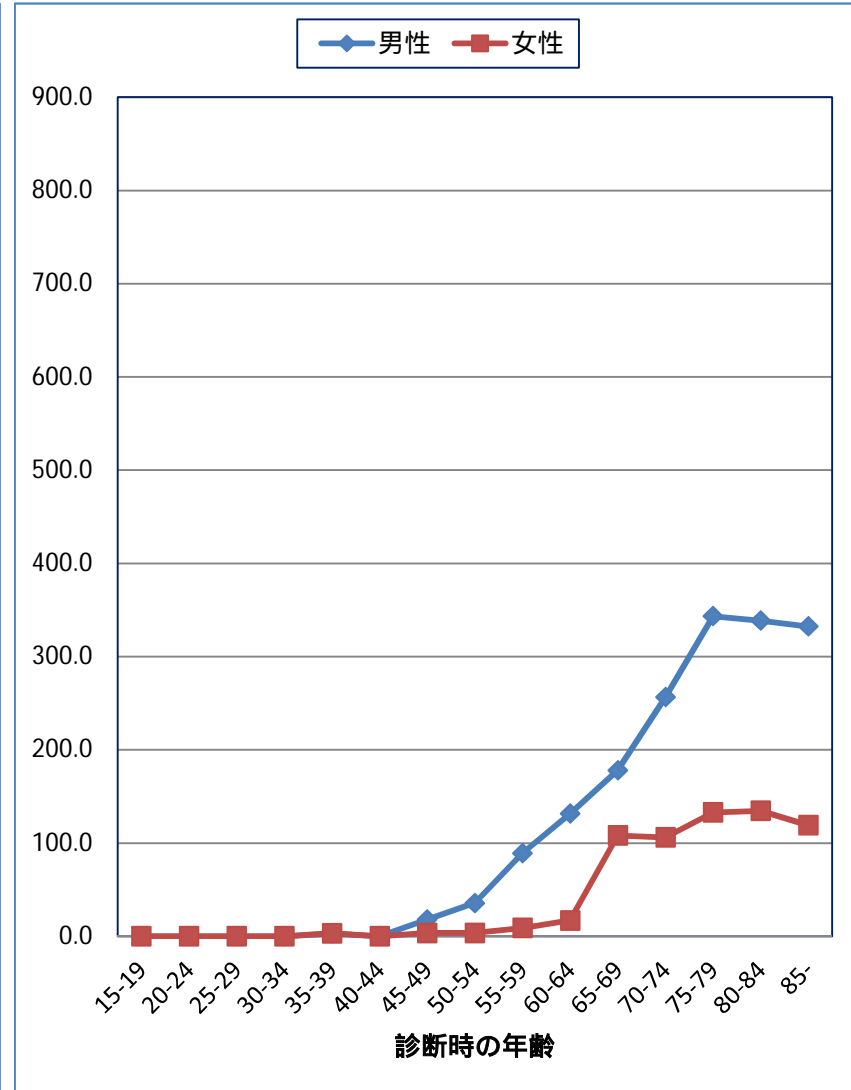


E - 3 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

胃がん(上皮内がんを除く)



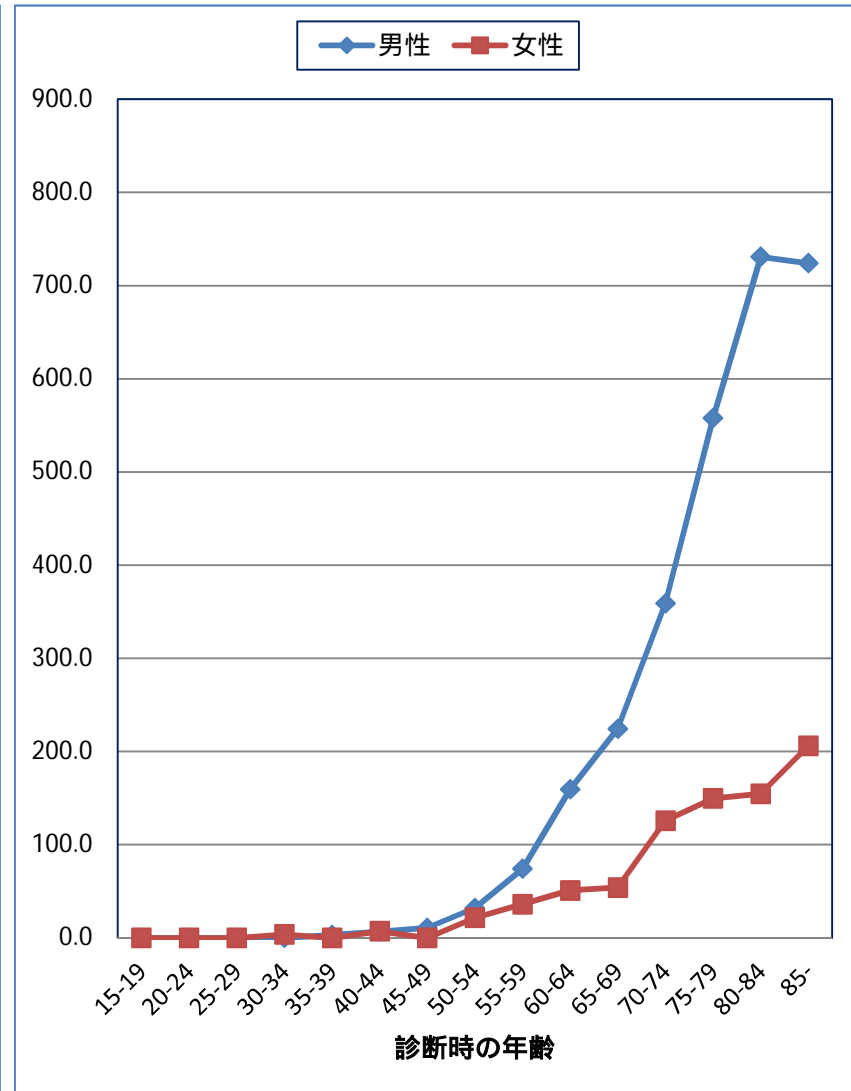
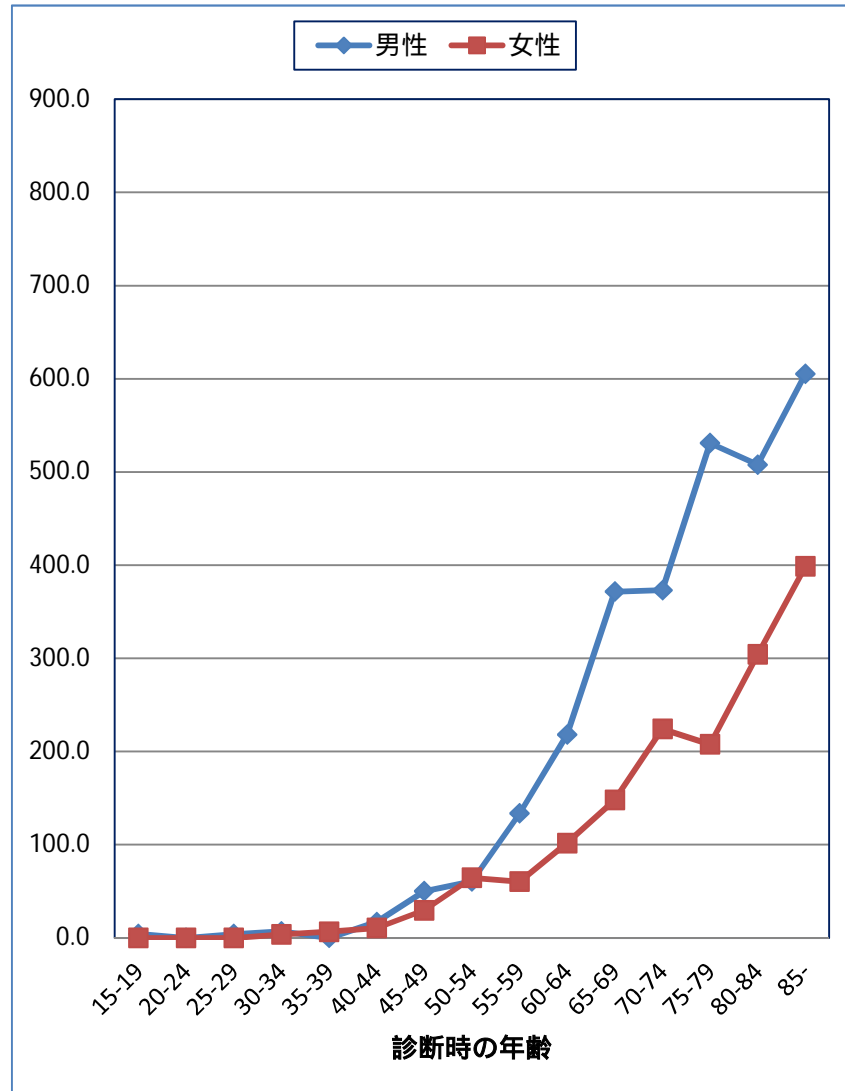
肝がん(上皮内がんを除く)



E - 4 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

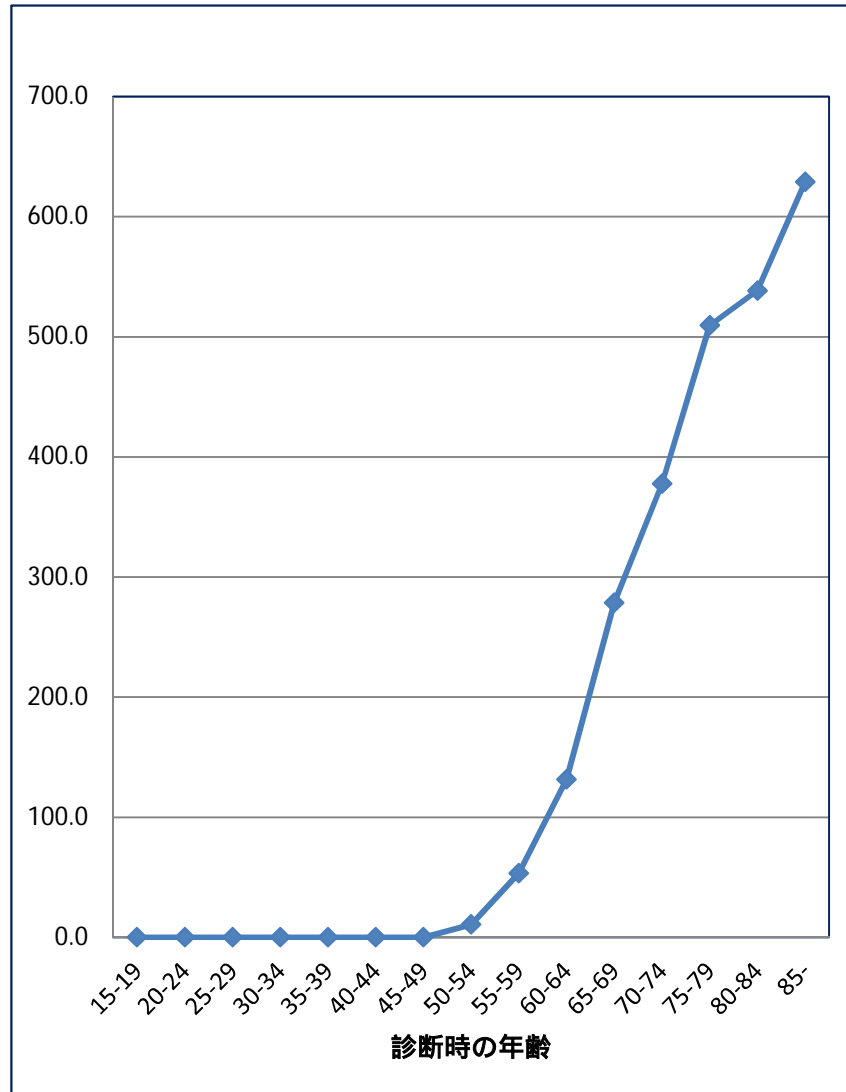
大腸がん(上皮内がんを除く)

肺がん(上皮内がんを除く)

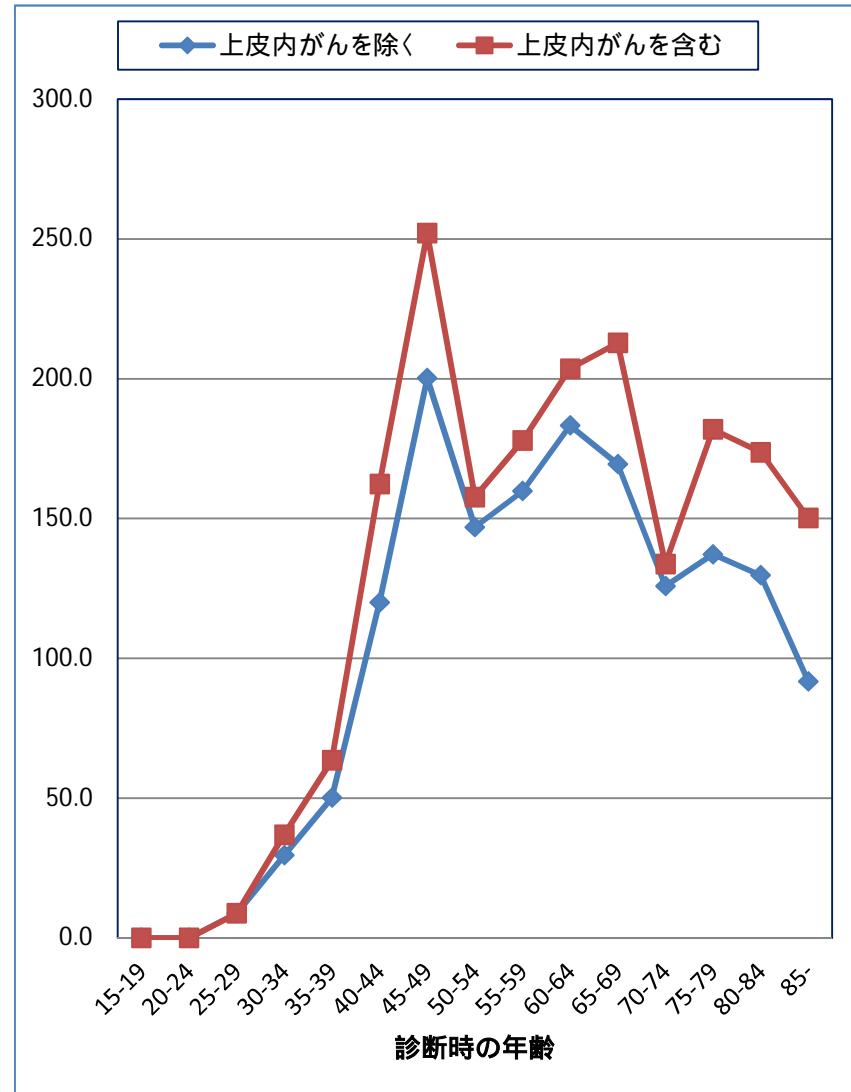


E - 5 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

前立腺がん(上皮内がんを除く)

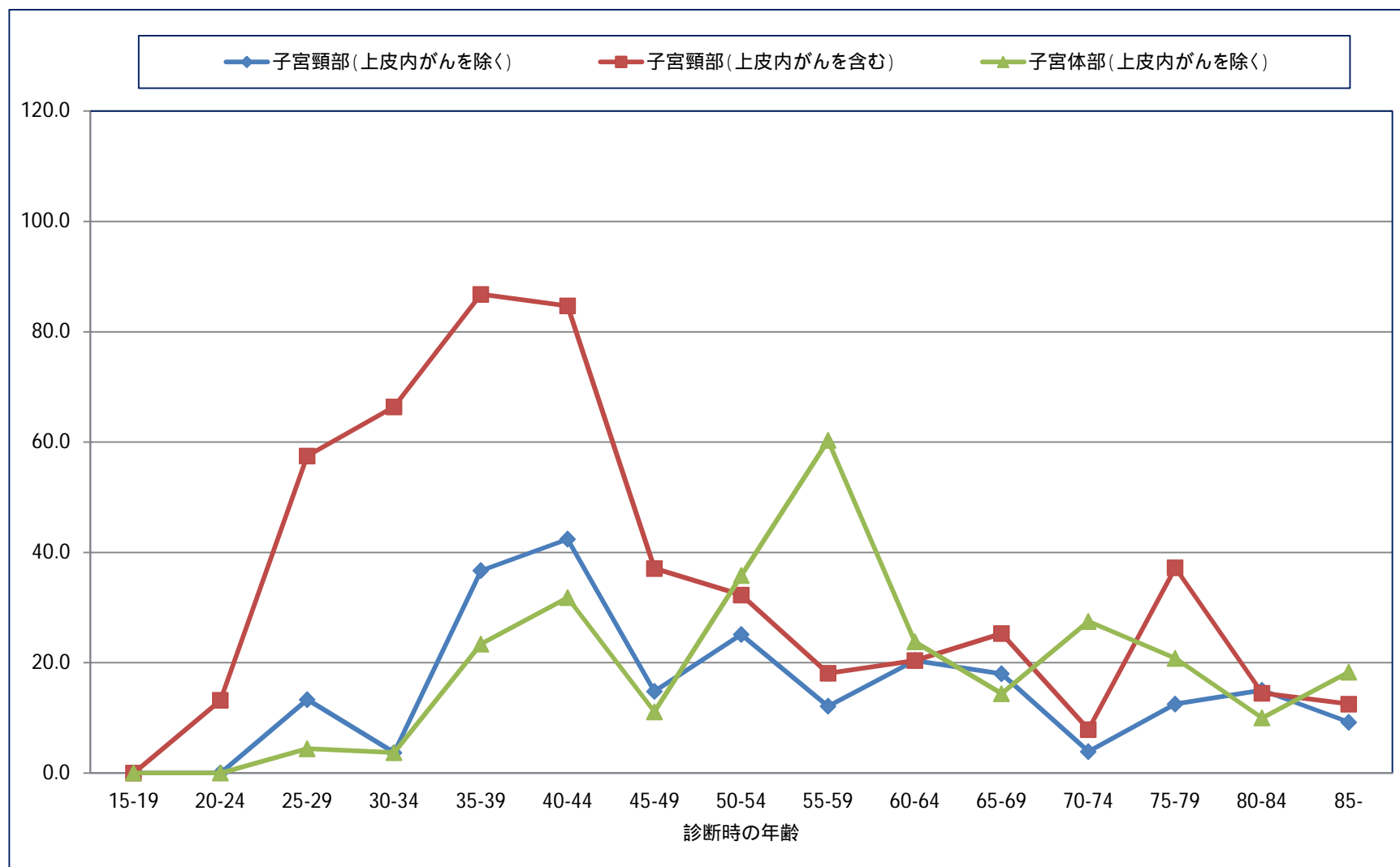


乳がん

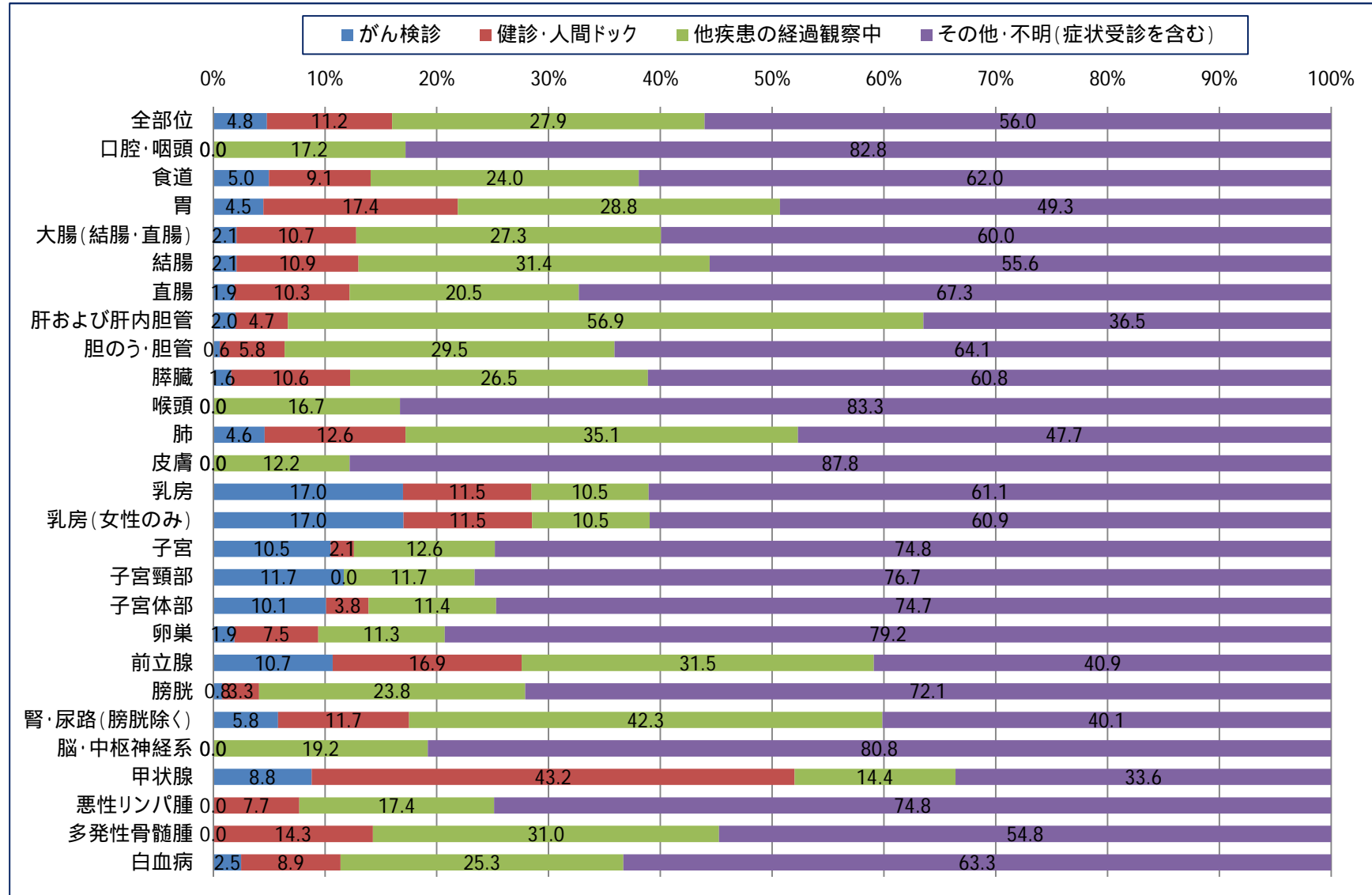


E - 6 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

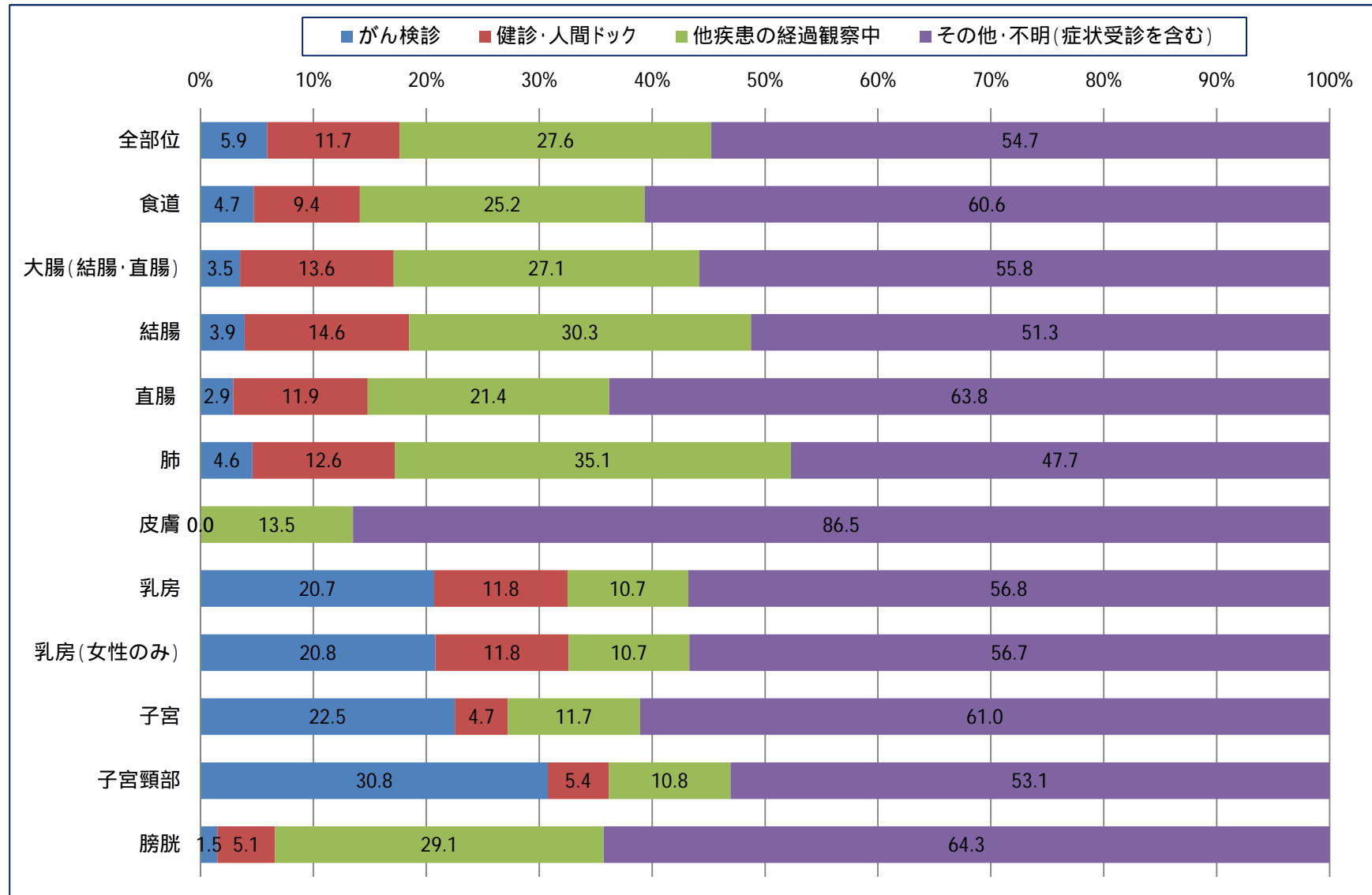
子宮(子宮頸部・子宮体部)がん



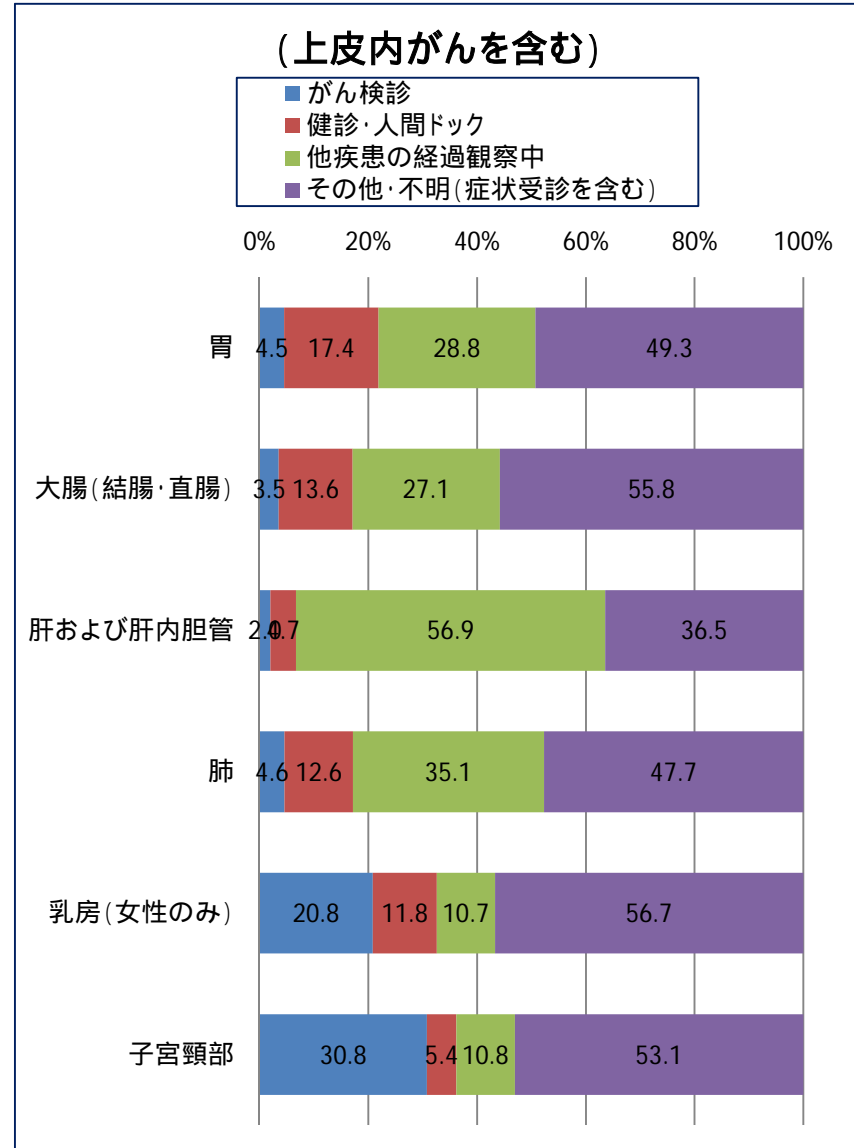
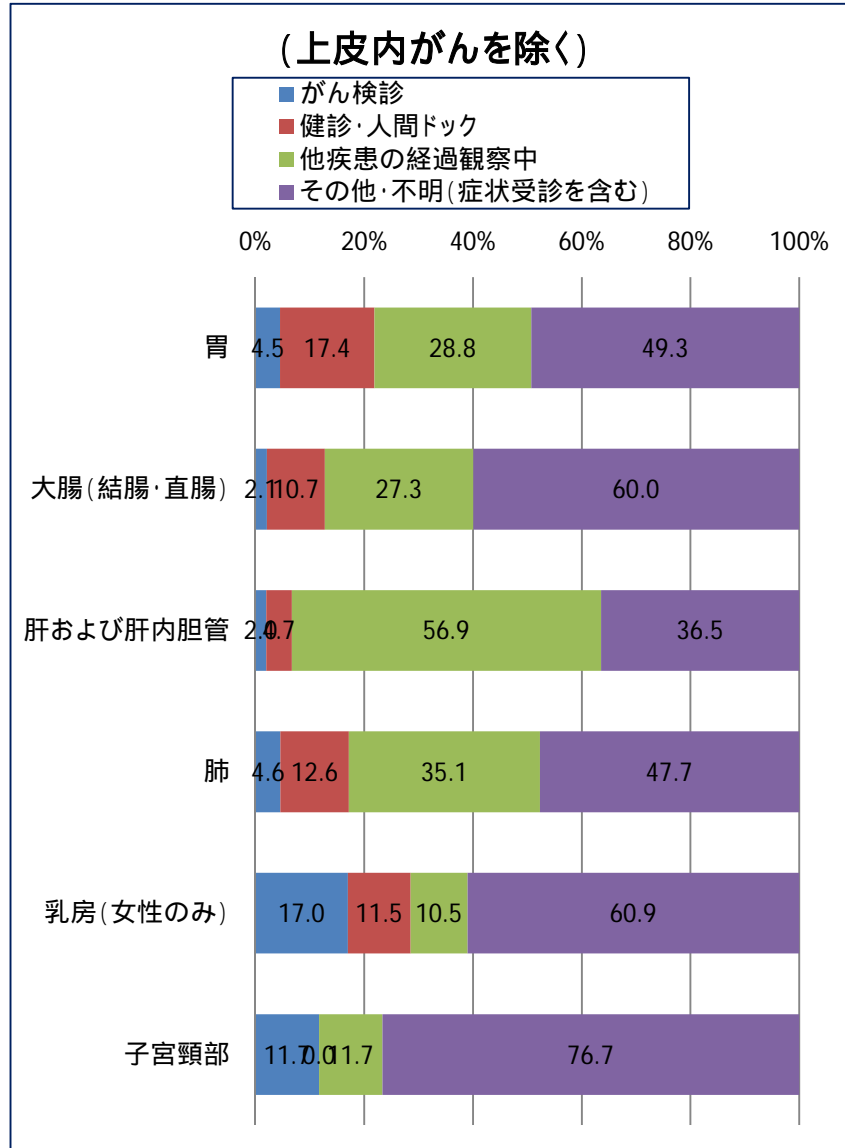
F - 1 発見経緯 (上皮内がんを除く) (%)



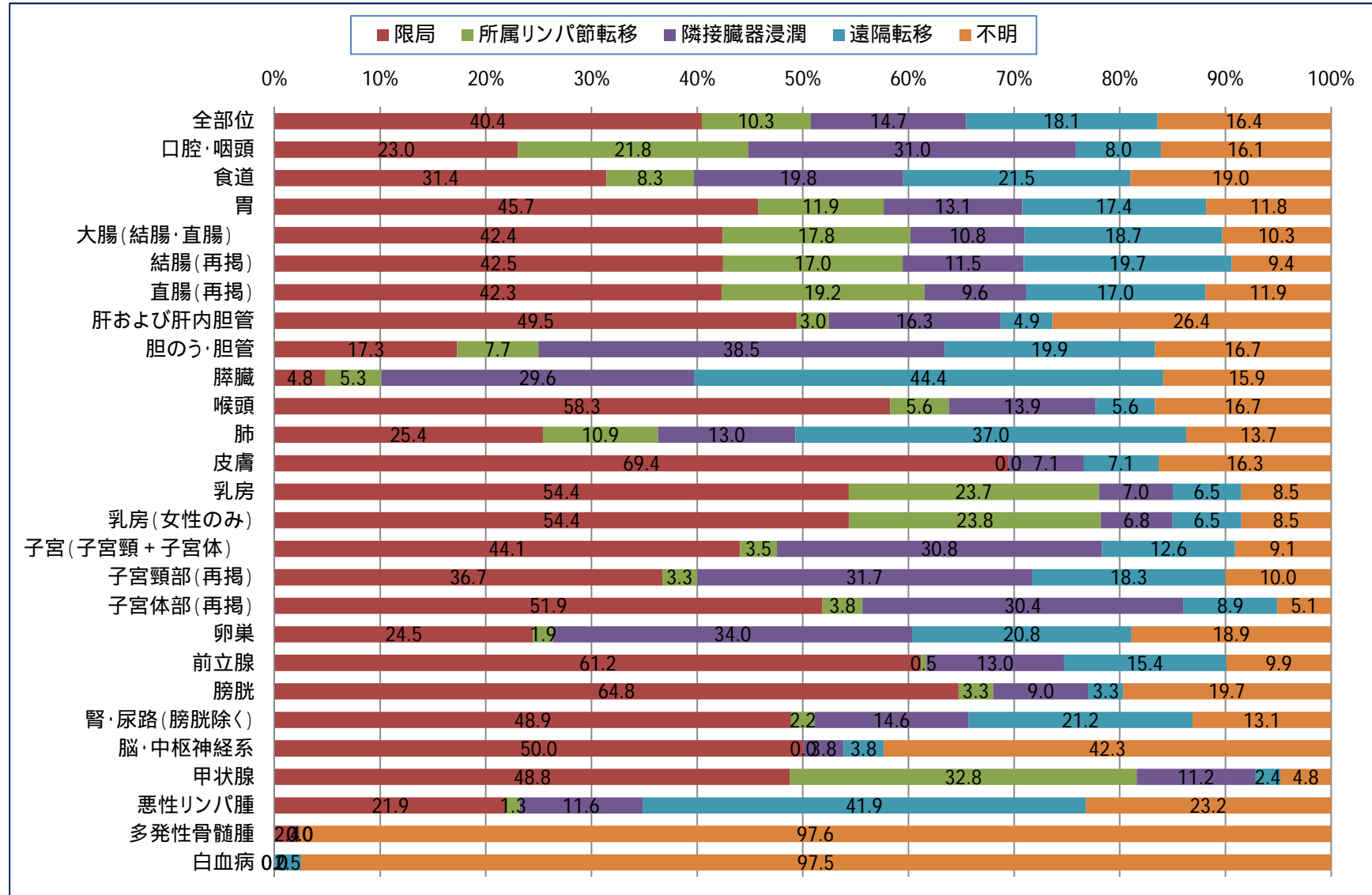
F - 2 発見経緯(上皮内がんを含む)(%)



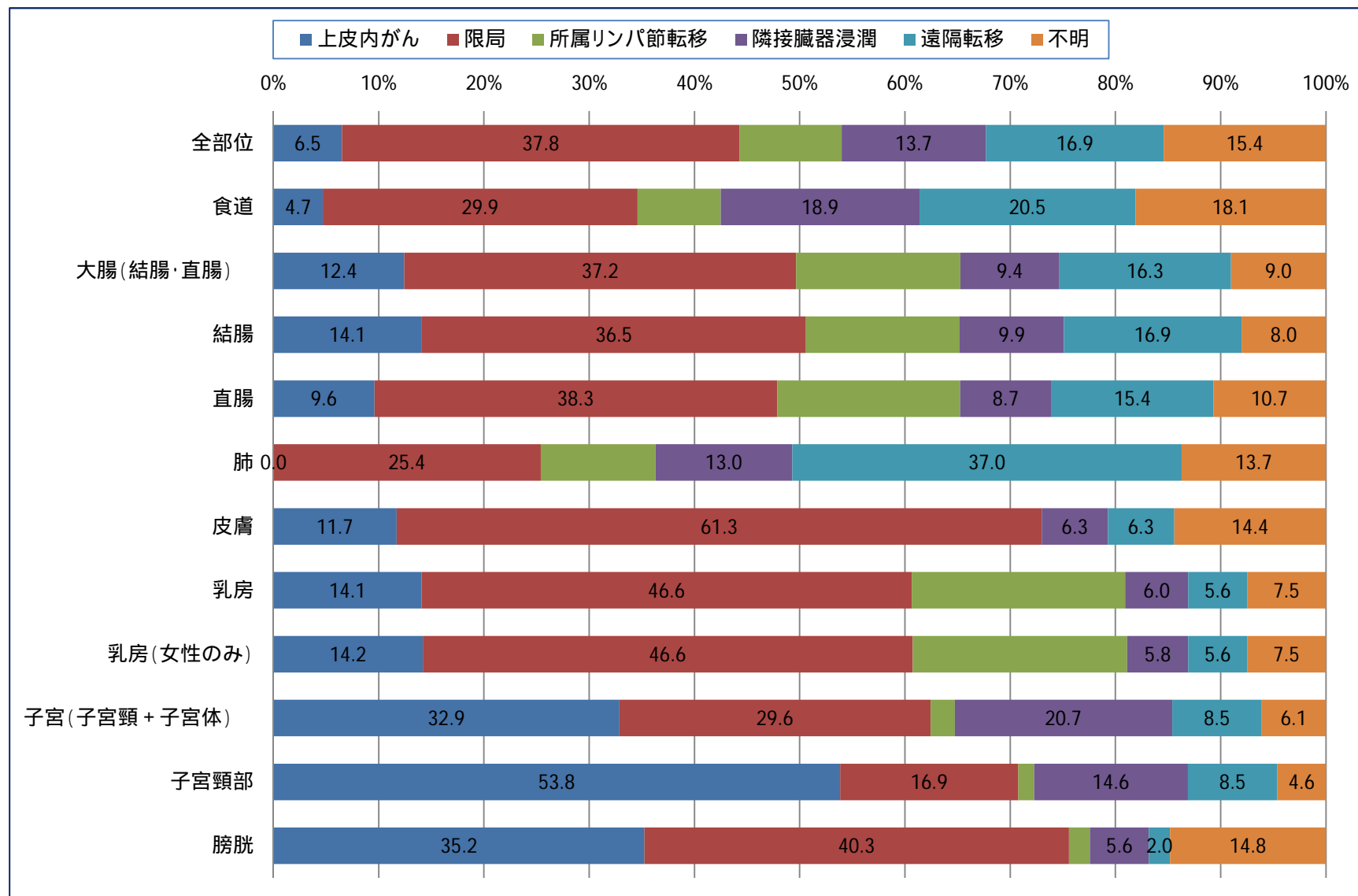
F - 3 発見経緯 (5大がん + 肝がん) (%)



G - 1 臨床進行度(上皮内がんを除く)(%)



G - 2 臨床進行度(上皮内がんを含む)(%)



データの精度

- 山梨県のデータ精度はMCIJ掲載基準を満たしている。
- 全国に比べDCNは高いが、DCOは低く、精度は高い。

		DCN		DCO	
		上皮内がん (除く)	上皮内がん (含む)	上皮内がん (除く)	上皮内がん (含む)
MCIJ掲載基準		30%未満		25%未満	
全国	2008年(MCIJ)	20.2%		13.6%	
山梨県	2008年(確定値)	29.8%	28.1%	11.8%	11.1%

- MCIJ : 全国がん罹患モニタリング集計
- DCN : death certificate notifications 死亡診断書で初めて把握されたがん症例
- DCO : death certificate only 死亡診断書以外の情報がない症例

まとめ

1. 罹患数

2008年のがん罹患数は5,755件
男性:3,366件、女性:2,389件
であった。

	2008年(確定値)
全体	5,755
男性	3,366
女性	2,389

注：地域がん登録は1腫瘍1登録であり、多重がんもあるため「がん罹患人数」ではない

2. 部位別罹患数・罹患割合

1位が「大腸」918件、2位が「胃」
859件、3位が「肺」676件であった。

	2008年	
	部位	罹患数(割合)
1位	大腸	918(16.0%)
2位	胃	859(14.9%)
3位	肺	676(11.7%)

まとめ

3. 男女別罹患数順位

男性は、「胃」579件、「大腸」540件、「肺」481件、「前立腺」430件、「肝および肝内胆管」321件の順であった。

女性は「乳房」419件、「大腸」378件、「胃」280件、「肺」195件、「肝および肝内胆管」153件の順であった。

2008年	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	大腸	肺	前立腺	肝および肝内胆管
女性	乳房	大腸	胃	肺	肝および肝内胆管

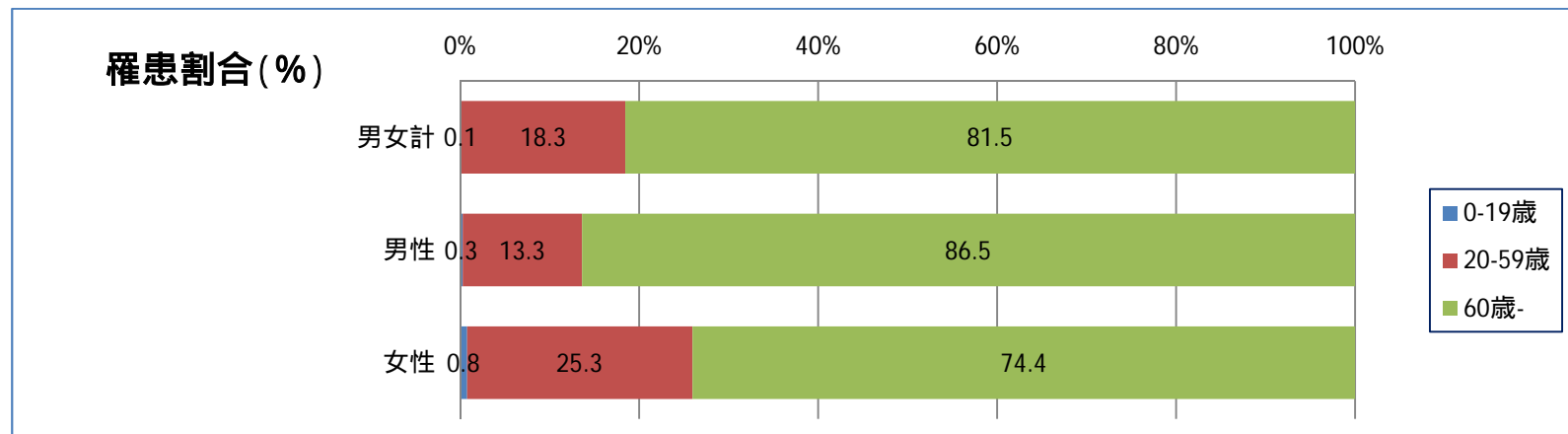
まとめ

4. 年齢階級別男女別罹患数、罹患割合

年齢別にみると、60歳以上が、4,688件で全年齢の81.5%を占め、就労年齢の多い20 - 59歳は、1,053件で、割合は18.3%となっている。

男性では、60歳以上が、2,911件、86.5%、20 - 59歳が、449件、13.3%となっている。

女性では、60歳以上が、1,777件、74.4%、20 - 59歳が、604件、25.3%となっている。



まとめ

5. 年齢階級別罹患率

男性は50歳代前半から罹患率が急激に上昇し、その後も加齢に伴い上昇している。

女性は、乳がん及び子宮頸がんの罹患が、20～30歳代から高くなることから、20歳～40歳代までは男性より罹患率が高い。50歳代で男性の罹患率と交差し、その後は緩やかに増加する。

臓器別の罹患率をみると、男性は、50歳代前半からどの臓器も増加している。

女性では子宮頸がんが20歳代前半から上昇し、30歳代後半でピークとなる。また、乳がんは30歳代前半から上昇し、40歳代でピークとなる。子宮頸がんと乳がんは、若い世代に罹患率が高い特徴がある。

まとめ

6. 臓器別発見経緯

発見経緯は、「上皮内がんを除く」全部位で「がん検診」4.8%、「健診・人間ドック」11.2%、「他疾患の経過観察中」27.9%、「その他・不明(症状受診含む)」56.0%であった。

「がん検診」と「健診・人間ドック」によるものを合わせると16.0%が健診等で発見されたものであった。

健診等で発見されたものを臓器別にみると、「甲状腺」52.0%、「乳房」28.5%、「前立腺」27.6%、「胃」21.9%の順であった。

「上皮内がんを含む」発見経緯では、「子宮頸がん」が36.2%、「乳房」が32.5%で、健診等での発見率が高い。